

気になる  
ギア  
Intrigued Gear

Extra

ロイヤルコレクションから、NEWドライバーが4月7日に登場。新生ロイコレのドライバーとはどんなクラブに仕上がっているのか？ 気になるギアの追加ページを設けて紹介します。

spec

●ヘッド体積 / 450cm<sup>3</sup> (9.5度)、460cm<sup>3</sup> (10.5度)  
●素材 / フェース: 6-4チタン、本体: 811チタン+カーボンクラウン  
●ロフト / 9.5、10.5度  
●シャフト / Royal Collection TT-5 (R, SR, S)  
●価格 / 9万9000円 (ヘッド単体: 8万5800円)

# 球の強さと操作性にやさしさをプラス ロイヤルコレクション TM-Xドライバー



ヘッドの操作性を生かしながら加速性と高打ち出しが得られるオリジナルシャフト。(コンポジットテクノ社製)



ソールに装着された4つのウェイトで、重心位置とバランス調整、可変スリーブでロフト調整が可能。



キャピティソール部分の「振動吸収材アスナーシート」が、心地よい打感と打音を生む。



インパクト時のロフト変化を抑え、風に負けない強い弾道を生むディープバック設計。



カーボンコンポジットで低重心化と重心位置の最適化を図り、低スピンと操作性を両立。



テスター  
高橋良明 (たかはし よしあき)

1983年生まれ、40歳、東京都出身。2013年プロ入会。ツアーにチャレンジする傍ら、多くのゴルフメディアでクラブの試打を行って来たベテランテスター。現在はアマチュアのレッスンをしている。

「球をつかまえる、球筋を打ち分けるスキルがある人ほど、良さを感じられるはず」と言うから、従来の大型ヘッドに満足できないというゴルファーは要注目の一本だ。

ニューtralなつかまりなので、ドロフェードが打ちやすく、芯は広いのにヒールヒットでの「巻き込み」や、トゥに当たって「スッポ抜け」が出ない。しかも、低スピンの強い弾道で飛距離も出る。「球をつかまえる、球筋を打ち分けるスキルがある人ほど、良さを感じられるはず」と言うから、従来の大型ヘッドに満足できないというゴルファーは要注目の一本だ。

多くのプロを魅了したロイヤルコレクションが、2020年に大幅な組織変更を経て再スタートした。

そんな新生ロイヤルコレクションが競技志向ゴルファーに向けて開発したのが「TM-Xドライバー」だ。

460cm<sup>3</sup>、カーボンコンポジットヘッドによる飛距離と寛容性は持ちながら、プロ、上級者が求める操作性、打感、風に負けない強い弾道、そして左へのミス軽減する設計がなされていると言う。

そんな、TM-Xドライバーを高橋プロが試打。「小ぶりに見える洋ナシ形状とフラットなライ角で、構えただけで叩いても引つかからない安心感があります」というのが第一印象。

大型ヘッドのやさしさを  
持ちながら物足りなさや  
不安を排除